

海妻甘藏 うづま かんざう 國學者。文政七年八月筑前國生れ、明治四十一年八月、二十七自殺（二八四一九〇九）。舊姓井上、講道編、幼多己百、初名周邦、通稱壽馬・久左衛門・甘藏。變名紫野假庵、號子七白齋。福岡藩儒井上學圃の次男、嘉永二年海妻氏を繼ぐ。慶應二年大筑隊監攝演武勳。慶應文武館會館總督、明治八年高倉神社祠官、權大講教。

編著、小田部隆叙纂録・上原和光 臥牛實禪考述・小田部近太郎再訂只大平 勝實始業筑前拾七城遺跡誌（校正、明治二十二年一月一日小田部隆叙編刊）、筑前人物遺聞（広渡正利校訂、昭和六十一年一月一日）千九百文獻出版）等。



筑前人物遺聞

筑前人物遺聞
海妻甘藏著
広渡正利校訂

学問だけでなく、人を育てる本、教育者必読の書 / 教育者必読の書

本書は、明治人が現代人に残した学問だけでは得られない人物形成の為の遺書である。
本書は現代教育に弊種を鳴らしつつ、錢で買えない親子の情愛・友情等が温く行間に滲みでている。今大きな問題になっているイジメの解決策が、明治時代すでに書かれている点で、現在社会に大きな光となり又人生の師としても最適な書である。

321-1116-7453 定価 1,500円